

承認欲求を満たすためにSNSを利用する子どもたち

自分の意見や、日常生活の様子を投稿したり、他の利用者とコミュニケーションをとったり、趣味についての情報を集めたりと、子どもたちはSNSをさまざまな形で活用しています。しかし中には、他人から認められたいという承認欲求を満たすために使って、SNSにふりまわされる生活を送っている子どもたちもいるようです。

SNSでの友だちの数や、「いいね」、コメントの数を気にしすぎてしまう

SNSでは、友だちの数や、投稿に寄せられた「いいね(※)」の数、コメントの数が数値として表示されます。こうした数の多さを、自分が他人から認められた証だと考えている子どもたちは、決して少なくありません。そのため、友だちの数が減ったことや、「いいね」やコメントが全然もらえなかったことにショックを受けたり、他の利用者の投稿についての「いいね」の数と自分の投稿に寄せられた「いいね」の数を比較して落ち込んだりといったように、そうした数を気にしすぎてストレスをためてしまうケースがあります。

※「いいね」とは……SNSの利用者が、気に入った投稿に対してボタンを押し、共感を伝える機能



また友だち減ってる。僕の投稿、おもしろくないのかな……



この人の投稿、またこんなにたくさん「いいね」されてる

数をかせぐために、投稿内容が過激化してしまうことも……

もっとSNSでの友だちを増やしたい、たくさんの「いいね」やコメントが欲しいという思いから、投稿内容がどんどん過激化してしまうケースがあります。

例えば、公共の場で迷惑行為や危険行為をしているものや、肌を露出するなど性的な要素を含むものを投稿してしまう子どもたちがいるのです。

こうした投稿をすると、批判的なコメントが多く寄せられることがあります。また、過去の投稿などから個人情報を特定され、問題の投稿とあわせてインターネット上に拡散されてしまう可能性があります。そうなると、後から情報をすべて削除することは難しくなります。

実際、SNSへの不適切な投稿と投稿者の個人情報が、インターネット上のさまざまなサイトに掲載され続けているケースはたくさんあります。



SNSはあくまで自分が楽しむためのツールであるということ子どもたちに理解させ、SNSを使うときは、友だちや「いいね」、コメントの数に振りまわされるのではなく、自分のペースで楽しく使うことを意識するよう、指導していくことが重要です。